

協議第 8 号

小城市文化振興補助対象団体認定について

このことについて、別紙のとおり協議する。

令和 7 年 2 月 20 日提出

小城市教育委員会 教育長 大野 敬一郎

協議理由

小城市文化振興補助金交付要綱に基づき、補助対象団体認定の要望書が提出されたため協議する。

小城市文化振興補助団体要望書

当団体は、2015年4月、小城町の四季や行事が織り込まれた小城町民みんなの踊り「小城音頭」を後世に踊り継ごうと、小城町地域婦人会活動の一環として「小城音頭保存会」を立ち上げました。

以来、町民運動会、本町シャンシャン祭、牛尾梅まつり、山挽祇園祭、梧竹祭等々の地域イベントに参加し、地域を元気にしようと活動が続けてまいりました。現在は、小城公園のさくら色コンサートなど新たに誕生したイベントへの出演や、毎月の練習や福祉施設慰問ボランティアなどを中心に活動が続けております。

会員の高齢化、活動機会の減少等、課題もありますが、小城音頭を伝承したいという熱い想いを胸に、今後も活動が続けていく所存です。

会員の想いをお汲み取りいただき小城市文化振興補助団体の認定を要望いたします。

令和7年1月31日

小城市長 江里口秀次 様

小城音頭保存会

会長 中島 サワ子

令和 6 年度 小城市文化連盟 団体活動状況調査表

令和 6 年 4 月 1 日現在

支部名	小城支部		
グループ名	ふりがな	おぎおんどほぞんかい	
	小城音頭保存会		部門 日舞(伝承芸能)
代表者名	ふりがな	なかしま さわこ	
	氏名	中 島 サワ子	
	住所	〒 [REDACTED]	
副代表者名	ふりがな	さわだ よしこ	
	氏名	澤 田 佳 子	
	住所	〒 [REDACTED]	
指導者名	中 島 サワ子		お住まいの市町名をご記入ください
利用施設名	小城文化センター ※主に利用する施設		
発足年月日	2015 年 4 月 日 (わかる範囲で)		
会 員 数	29名	内訳 男性 名	大 人 29 名
	(代表者含む)	女性 29名	子ども 名
会 費	・ある ☒ ない 金額(月: 円)		
入 会 金	・ある ☒ ない 金額(円)		
活 動 状 況	活動内容	小城町内イベント出演(さくら色コンサート外) 福祉施設慰問(小城町・芦刈町) 小城中同窓会等依頼があれば出演	
	練習日	時 間	場 所
	(例)毎週月曜日	10:00~12:00	ゆめぶらっと小城 多目的ホール
	毎月第3土曜日	10:00~12:00	小城文化センター
	毎月第4日曜日	10:00~12:00	小城文化センター
人財バンク	現在全団体に、別紙「活動報告書」をお願いしています。 なお登録されている方は、そのまま継続となります。 新規で登録する方は別紙「登録申込票」にてお申込みください。		
新規会員受入れ	新規入会希望があれば受入は ☒ できる ☐ できない		
問合せがあった場合	電話番号を ☒ 教えていい ☐ 教えない ☐ 直接教室見学を案内してほしい		

令和6年度小城音頭保存会活動実績

月日	活動内容	場所
4月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
4月16日	総合ケアセンターあしかり慰問	芦刈町
5月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
6月2日	第14回小城市ふれあい芸能まつり出演	ドゥイング三日月
6月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
6月18日	総合ケアセンターあしかり慰問	芦刈町
9月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
10月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
10月17日	総合ケアセンターあしかり慰問	芦刈町
10月25日	第76回九州地区地域婦人大会出演	ホテルニューオータニ佐賀
11月9日	第20回小城市民文化祭小城町芸能祭出演	ゆめぷらっと小城
11月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
11月23日	小城日中友好協会交流会出演	小城保健福祉センター桜楽館
12月14日	銘酒で乾杯ほろ酔いツアー歓迎イベント出演	JR小城駅
1月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
以下予定		
2月15日	地域密着型施設清水園慰問	小城町
2月20日	総合ケアセンターあしかり慰問	芦刈町
2月23日	牛尾梅まつり出演	牛尾梅林
3月2日	小城街道ひなまつり出演	ゆめぷらっと小城
3月23日	さくら色コンサート出演	小城公園
毎月第3土・第4日 練習		小城文化センター

令和6年度小城音頭保存会予算書 〈参考〉

(収入)

決算

単位:円

科 目	前年度予算額	本年度予算額	比 較	摘 要
出演謝礼	15,000	20,000	5,000	イベント出演謝礼
事業収入	0	5,000	5,000	バザー売上げ
基金繰入	0	100,000	100,000	活動基金より
繰越金	28,183	34,270	6,087	前年度より
合 計	43,183	159,270	116,087	

(支出)

決算

科 目	前年度予算額	本年度予算額	比 較	摘 要
負担金	4,100	5,000	900	文化連盟会費外
事務費	1,215	5,000	3,785	コピー代・事務用品
食糧費	3,598	10,000	6,402	弁当・お茶
保険料	0	10,000	10,000	ボランティア保険
衣装購入費	0	100,000	100,000	ポロシャツ・たすき
予備費	0	29,270	29,270	
合 計	8,913	159,270	150,357	

令和6年4月9日

小城音頭保存会会長 中島 サワ子

小城音頭保存会収支報告書

単位:円

科 目	収入額	支出額	差引残高	摘 要
前年度繰越金	28,183			
出演謝礼	15,000			人づくり塾、日中友好協会
負担金		4,100		文化連盟会費
事務費		1,215		インク代
食糧費		3,598		スーパ、新年会お茶
合 計	43,183	8,913	34,270	

収入	支出	次年度繰越
43,183円	8,913円	34,270円

令和6年4月9日

小城音頭保存会会長 東 島 美恵子

監査の結果、相違ないことを認めます。

令和6年4月9日

監査委員

小柳 容子

監査委員

鎌山 文子



私たちは、この小城町を面白い、楽しい町にしたいと考えています。平凡なことですが、それは美しく、安全でさらに

小城町長 福地吉次

「広報おぎ」 発行によせて

エキサイティングな町を目ざしています。
町づくりにはみなさん一人ひとりと、そしてみなさんと町が一体となって知恵を出すことが最も大切であると思います。
この交流、対話、情報交換の場として、また、小城町のあるべき姿について、みなさんと共に考えていきたいと思い、広報を発行することになりました。
町とみなさんが車の両輪のごとくに一つの目標に向かって回転する。その車輪の軸になるのが広報の役割だと考えます。
この広報は二カ月に一回発行いたしますが、ささやかなこの広報が、これからの町づくりに役立てばと思います。



広報担当（企画係）

身近な広報づくりを めざって

私たちが、広報を担当する四人です。広報紙をつくるのは、初めてで、どんなものになるか不安ですが、皆様のご意見やご感想をいただきながら、広報紙をつくっていききたいと思います。
私たちは、広報紙を通じ小城町について皆様に関心をもってもらい、皆様と話し合いたいと考えています。
「皆様の身近な広報紙」と担当者一同考えておりますが、皆様にも取材等で協力をお願いすることがあると思いますので、よろしく願います。

私は、新小城音頭選考委員長として、小城町にふさわしい歌詞の選考にあたりました。当初は、一回の選考委員会で決定するはずでしたが、応募された方々の作品に対する苦心のほどがうかがわれる作品が多く、三回目ようやく入選作品を決定することができました。
私も、できたばかりの新小城音頭を聞きましたが、小城町に住んでいる方ならば皆さんご存じの名所、特産物、四季折々の情景がうまくなりこんであり、だれもが歌いやすい音頭だと思います。
これからは、新小城音頭が皆さんに親しまれ、地域づくりの手助けとなることを願います。



新小城音頭選考委員会
委員長 谷口丑雄氏

親しみのある 新小城音頭

の、ふるさとを思い出す「よすが」ともなれば幸いです。

発表会 新小城



レコーディング中の嶺よう子さん



新小城音頭 作詞者のことば

芦原雅子さん

「新しいふるさとづくり」の一環として、小城町をはじめ、関係者の方々が、「新小城音頭」の制作を計画されました事に、心より敬意を表します。
今回、はからずも私の歌詞が採用され、この上もない光栄と感謝すると共に、大変責任を感じました。しかし、一流の作詞家の補作により、まとまった歌になり少し安堵しているところです。
歌詞にありますように、春夏秋冬共にすばらしい小城町を町外の人々に知ってもらおうと共に、この音頭が町民の方々に口ずさまれ、仕事で他県に行った方々

5月23日 中央公民館

音頭

みんなで
歌って
踊ろう!



新小城音頭

作詞 芦原雅子
補作詞 島田八陽子
作曲 池田嶺
唄 嶺よう子



はるは さくらの おぎこうえん に はるさめまつりの あでやーかー
さ - ほんぼり ともれ ば よざくら ゆれ て
ボートの ふたりに ちりか かる よかと こ よかと こ
おぎの ま - ち ふる い - れ きしーの かおる まち

新小城音頭

作詞 芦原雅子
補作詞 島田八陽子
作曲 池田嶺

- 一、春は桜の 小城公園に
春雨まつりの あでやかさ
ほんぼり灯れば 夜桜ゆれて
ボートのふたりに 散りかかる
よかとこ よかとこ 小城のまち
古い歴史の 香るまち
- 二、夏は祇園の 山挽きまつり
蛸も飛びかう 夢の里
丑の日まじりは 観音さんへ
清水涼しい 滝の音
よかとこ よかとこ 小城のまち
水にみどりか 映えるまち
- 三、秋はみかんに 黄金の穂波
みやは自慢の 小城ようかん
鯉ならあらいよ 盃ほせば
地酒のうまさに まわる酔い
よかとこ よかとこ 小城のまち
みんな笑顔で 暮らすまち
- 四、冬は真白な 天山仰ぎ
人情ゆたかな 城下町
牛尾梅林 ほころび初めて
希望もふくらむ ふるさとよ
よかとこ よかとこ 小城のまち
未来へ生きいき 伸びるまち

新小城音頭で 郷土づくり

昨年十一月、皆様に新小城音頭の歌詞を公募いたしましたところ、二十三編の応募がありました。早速、小城観光協会会長の谷口丑雄氏を委員長とする新小城音頭歌詞選考委員会の慎重な審査の結果、芦原雅子さん（小城町北小路）の作品を採用し、作詞家の島田陽子先生に補作をしていただきました。

新小城音頭は、新しいふるさとづくりをスローガンに、豊かな自然に恵まれた郷土小城町の姿を明るく、たのしく表現し、皆さんが親しみをもちて歌える町民歌です。新小城音頭には、小城町文化連盟舞踊部の先生方による振り付けの踊りもあり、楽しく踊ることが出来ます。

全国各地では、いろいろな町づくりが活発に行われています。この活動は、その町の人々が自分の町を愛し、住みやすく、活力のある町づくりをしていこうという意思のあらわれです。

小城町でも、町民の皆様の相互のふれあいと和を深めるように、運動会、婦人会、老人会など地域活動に利用してください。

新小城音頭のレコードとテープは裏面に、イメーシング「小城で待つてます」を同時収録し販売しています。（数量に制限があります）
レコード 六百円
カセットテープ 五百円
申し込み先 役場企画係